

2. 地域・在宅看護論実習

地域・在宅看護論実習

1) 実習目的

地域で生活する人々の継続的な健康支援を通して、多様な場における対象に応じた多職種連携・協働をふまえた看護と健康問題や生活に障害を持ちながら地域で生活する人々を支援する看護活動の実際を学ぶ。

2) 実習目標

- (1) 地域で暮らす対象者の多様な価値観・健康・生活があることを理解する。
- (2) 在宅で療養する対象者に必要な看護を理解する。
- (3) 在宅で療養する対象者の看護を展開する視点を理解する。
- (4) 地域ケアシステムにおける他職種の連携・協働について理解する。
- (5) 対象者の自立と QOL 向上に向けた看護の役割を理解する。

実習単位と時期

実習科目名	単位数	時間数	実習時期	実習場所
地域・在宅看護論Ⅰ実習	1 単位	30 時間	1 年次 10 月頃	福祉関連施設等
地域・在宅看護論Ⅱ実習	2 単位	90 時間	3 年次後期～ 4 年次全期	訪問看護ステーション